

# 和し 鍛え 学ぶ

## 正解

3月5日。季節外れの冷たい北風が吹く。

いつものように、いつもの時間に、いつもの服装で登校してきた41回生。いつもと違うのは、少し冷たい指先で靴箱の名前のシールをはがしていること。そして、今日が普段の生活を教室で送る最後の日だということ。4月、先生たちが一人一人の靴箱に貼ってくれた名前。今から出会う君たちの顔を思い浮かべながら、担任の先生たちが貼ってくれたに違いない名前シール。気が付かないけれど、そんな温かさにたくさん包まれて今日まで41回生として過ごしたことを絶対に忘れないでほしい。



先生との絆、先生への感謝。仲間との思い出、一生懸命に歩んできた日々、それが、きっと、41回生「煌めき学年」の『正解』。

そんな生徒たちとともに夢中で過ごした日々、その思いが、煌めき学年の先生たちの『正解』。

## 主任の涙

今日の集会で7組の担任の先生が「初めて3年間持ち上がった生徒だった」と話していました。君たちの学年主任が、主任として初めて3年間寄り添ってきた生徒も41回生です。3時間目、最後の学年集会。3年生の先生たちが、私に学年集会のことをこっそり教えてくれました。

主任は、もう、もう、もう、ひたすら泣くことに集中していて、私が背後にいることにも気付かなかったと思うけれど、担任の先生たちが話しているぐらいから、涙、涙、涙。落ち着きなくペンを握りしめたり、意味もなくファイルを開いてみたり、7組の先生の話の時には用もなくうろうろ歩き回ったり、せわしく右手、また左手、右手と、交互に何度も目をしきりにこすったりしている。

主任、花粉症ではないですね？ 花粉症なら相当重症です。鬼の目にも大量の涙、涙、涙、涙。  
主任、明日の分の涙、残っていますか？

「暖かい日差しに、主任のネクタイの色も明るくなってきた今日この頃」  
明日は3月6日。卒業式。

